



# カルガリー大学医学部

## Cumming School of Medicine, University of Calgary



●学部学生（医学部） 22,800人（500人） ●大学院生（医学部） 5,640人（900人）

●医学部教職員 800人 ●留学生（全学） 約900人

ホームページ <http://cumming.ucalgary.ca/>

交流協定締結年月日：1989年7月31日 主管学部：医学部



### 国際交流の特色

カルガリー大学医学部は、1970年の開学以来、医学教育・研究の面で急速に国際的なリーダーとなってきた。患者を中心に据えた科目横断的な医学プログラムは国際的に高い評判を得ており、次世代をリードする医師および医学研究者を輩出している。設立当初より国際貢献に積極的で、多数の交流プログラムを展開している。1989年より本学医学部医学科との交流が開始され、教員、学生の派遣・受入れなど、幅広い活動を継続して行っている。またこの交流が切っ掛けで、三木町とカルガリー郊外のディズベリー町との交流が始まり大学の国際交流が地域ぐるみで進んでいる。全学Study abroad語学研修プログラムも始まっている。

### 交流実績（平成27年度～29年度）

年度	H27	H28	H29
受入・派遣			
学生の受入	0	0	0
学生の派遣	0	0	0
研究者・職員の受入	0	1	1
研究者・職員の派遣	1	0	0



### 教員からの声

カルガリー大学医学部は、北アメリカ大陸でも大変ユニークな、3年制の医学教育システムを持ち、優秀な医学生を世界へ向けて輩出しています。国際的貢献・協調を旨とし、発展途上の国々に対しての協力を展開しています。香川大学医学部との交流の歴史は20年を越えました。この間大変活発な交流を続けています。教員レベルでの共同研究はもとよりのこと、学生レベルでの交流に特に力を入れてきました。これまでに約80名以上の学生が留学を経験しました。今後は研究面や臨床研修への展開を目指しています。またカルガリー大学との交流は、三木町の国際交流へと発展し、カルガリー市の近郊のディズベリー町との交流が始まり、平成21年には正式な交流協定が締結されました。昨年は三木町と大学とでディズベリー町を訪問し交流しました。大学の国際交流のノウハウを、地域の交流に還元し貢献してきた典型例です。研究面では希少糖研究等の可能性を探りつつあります。今後も地域も一緒に多面的な交流を展開することを目指します。大学院生の研究受け入れの道は開かれています。

医学部教授 徳田 雅明

### 学生からの声

●カルガリーで授業を受けることで、今までの知識をより深めることもでき、将来のことも真剣に考え始めた時期に向こうの学生と交流し、刺激をうけたことで自分のモチベーションも大いに上がり、日本ではできない経験をする事ができました。向こうでの勉強も、出会った仲間も、雄大な自然も、どれもいい思い出となりました。  
●カルガリー留学では、日本には決して味わえない、様々なことを体験し、学ぶことができました。僕の今後の人生において大きな財産になることと思います。このような経験をjする機会を与えてくださった、諸先生方には心から感謝申し上げます。

残念ながら当面の間、医学部生の派遣事業がストップしています。語学研修事業 Study Abroad はありますので、是非活用してください。共同研究が進みつつあり、研究者交流や臨床面での交流の展開を考えています。

過去のカルガリー大学への派遣学生